



# のりお通信

## 議員提案で政務活動費条例を改正！ ～平成29年度分からインターネット公開へ～



本会議で提案説明

6月23日に閉会した平成29年第2回定例会において、5会派が共同提案した「政務活動費の交付に関する条例」の改正案が賛成多数で可決成立しました。

昨年12月に議会内に設置された「検討会議」からの二度にわたる中間報告を踏まえ、改正案では、領収書等のインターネット公開を平成29年度分から実施するとともに、会派及び議員の説明責任などを盛り込みました。

私が代表して提案説明を行うとともに、本会議及び委員会での質疑に対しても、丁寧な答弁を行いました。

残念なのは、日本共産党など一部の会派が反対したことです。

## 菅原裕典氏への支持広がる！

4月上旬に、奥山仙台市長が今期限りでの引退を表明して以降、仙台市議会や県政界ではさまざまな動きがありました。

私が会長を務める自民党仙台市連では、政策本位での候補者選考を確認し、協議を重ねてきました。6月6日の臨時総会において全会一致で菅原裕典氏を支持することを決定したことは、マスコミ報道のとおりです。

奥山市長も6月27日に菅原裕典氏を支持することを表明しました。奥山市長が、震災復興の抵抗勢力である日本共産党と手を組む候補を支援せず、菅原氏を支援するのは当然の帰結といえます。

### ◇ 斎藤のりお プロフィール ◇

昭和29年8月生まれ  
古川高校・北海道大学経済学部卒業  
その後宮城県職員となる  
平成15年 仙台市議会議員初当選（現在4期目）  
自由民主党仙台市連会長  
仙台市議会において  
会派「自由民主党」会長・健康福祉常任委員

仙台市長選（7月9日告示、23日投票）を巡り、自民党市議をつくる「仙台市支部連合会（市連）」は6日、市内で総会を開き、無所属で出馬を表明した同市の冠婚葬祭会社社長の菅原裕典氏（57）を支持することを決めた。

菅原氏は5日に、「教育現場の改善」「地元経済の活性化」など出馬に向けた5本柱の公約の大枠を市連に示し、支援要請を行っていた。総会後、報道陣の取材に応じた市連の斎藤範夫会長は、支持を決めた理由について「方向性として（公約が）私たちの考えと一致する部分が多い」と説明した。

市長選を巡っては、民進党市連が9日にも衆院議員の郡和子氏（60）を独自候補として公表する見通しで、市民団体や他党との連携についても調整している。斎藤会長はこの動きを念頭に、「しっかりと対峙していく場面であり、自民党

## 自民市連 菅原氏支持を決定 仙台市長選「方向性の一致多く」

が主体となって市民の理解をいただき、市政をリードしていく必要がある」と強調し、菅原氏から支援要請があった翌日の判断に至ったとみられる。

総会では、自民党会派から市議会の他会派に呼びかけ、菅原氏を支援する市議の会をつくることでも合意した。

平成29年6月7日  
読売新聞